



ひゃく しゃく かん とう

百尺竿頭

発行:札幌市青少年山の家
 住所:南区滝野247番地
 TEL/011-591-0303
 FAX/011-591-0394
 HP:http://www.sapporo-yamanoie.jp
 指定管理者/公財)さっぽろ青少年女性活動協会

一步一步、確実に

青少年山の家
館長 井崎光男

平成元年9月に開設した青少年山の家は、これまで多くの利用者をお迎えしてきました。平成28年度においては、宿泊・日帰り・出前事業・主催事業等の参加者を含めて785団体延べ利用人数74,134人と、直近の3年間では一番多い利用者数となりました。

利用の7割は各種学校団体であり、なかでも小学校が全体の5割を超え最も多い利用となっています。

これは、青少年山の家が札幌市内の小学5年生の宿泊学習の場として位置付けされているためであり、毎年、特認校や分校を除く9割以上約14,000人の5年生が利用していることとなります。

小学校の利用にあっては、前年度の6月に抽選会(*1)を行い、利用日を決定しています。

1日の利用が最大3校までという制約もあり、それぞれの学校にとって必ずしも希望通りの日程で利用できるわけではありません。

また、1日に複数の利用がある場合は、施設設備の関係からお互いに譲り合ってください。たくさん場面も多く見られます。

私たち職員は、先生や各団体の指導者の方々が計画するプログラムとその目的が達成できるように、また、子どもたちの安全確保と楽しい体験活動の場となるように公平性を保ちながら柔軟に対応するよう相談させていただいています。

四季折々の豊かな自然の姿を見せてくれる国営滝野すすらん丘陵公園内に開設された青少年山の家も29年目を迎えます。私たちはこれからも、設置目的である「自然環境の中における宿泊を伴う集団活動、野外活動その他の活動を通じて青少年の健全育成を図る」が果たせる施設づくりを考えてまいります。

幸いにして利用者アンケートの結果では9割の方に「良い」という評価をいただきましたが、本紙のタイトル「百尺竿頭(*2)」の如く、日々向上心を持って真摯に取り組んでまいります。

今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成29年6月20日

*文中の(*1)は、青少年山の家条例、施行規則、及び事務取扱要領に基づくものです。

*文中の(*2)の意味は、行き着くことの出来る最高の地点。長さが百尺(約30メートル)ある長い竿の先の部分という意味から。最高の地点からさらに努力して、その先を目指す向上心を用いる。「百尺竿頭一步を進む」という形で用いることが多い言葉です。

利用者アンケートから

『食事がとてもおいしいという意見が生徒に多くありました。』

⇒ ありがとうございます。

食堂スタッフの皆さんが、毎食腕によりをかけて美味しい食事を作ってくれています。

ホームページに食堂のメニューを掲載しておりますので、ぜひご覧になってください。



編集後記

しばらくの間、発刊が途絶えておりましたが、山の家情報誌として多くの方に読んでいただきたい思いで再開させていただくことになりました。

山の家近況をはじめ、野外活動や自然に関して読者の皆様に役立つ情報をお届けできればと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。(奥)